

BGP ピア間の MD5 認証の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[デバッグについて](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、2 つの BGP ピア間の TCP 接続での Message Digest5 (MD5) 認証の設定方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントに掲載されているコマンド出力は、IOS® バージョン 12.4(15)T14 が稼働する 3660 シリーズ ルータから取得したものです。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

2つのBGPピア間にMD5認証を設定できますが、これはピア間のTCP接続上で送信された各セグメントが検証されることを意味します。MD5認証は、両方のBGPピアで同じパスワードを設定する必要があります。そうしないと、接続を確立できません。MD5認証の設定により、TCP接続上で送信された各セグメントのMD5ダイジェストに対する、Cisco IOSソフトウェアによる生成とチェックが行われます。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。

設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

ルータ 0 の設定
<pre>RO# interface Loopback70 ip address 70.70.70.70 255.255.255.255 ! interface Serial11/0 ip address 10.10.10.1 255.255.255.0 serial restart-delay 0 ! router bgp 400 no synchronization bgp log-neighbor-changes neighbor 80.80.80.80 remote-as 400 !--- iBGP Configuration using Loopback Address neighbor 80.80.80.80 password cisco !--- Invoke MD5 authentication on a TCP connection to a BGP peer neighbor 80.80.80.80 update-source Loopback70 no auto-summary ! ip route 80.80.80.80 255.255.255.255 10.10.10.2 !--- This static route ensures that the remote peer address used for peering !--- is reachable. . .</pre>
ルータ 1 設定
<pre>R1# ! interface Loopback80 ip address 80.80.80.80 255.255.255.255 ! interface Serial11/0 ip address 10.10.10.2 255.255.255.0 serial restart-delay 0 !</pre>

```
router bgp 400
  no synchronization
  bgp log-neighbor-changes
  neighbor 70.70.70.70 remote-as 400
  !--- iBGP Configuration using Loopback Address
  neighbor 70.70.70.70 password cisco
  !--- Invoke MD5 authentication on a TCP connection to a
  BGP peer
  neighbor 70.70.70.70 update-source Loopback80
  no auto-summary
  !
ip route 70.70.70.70 255.255.255.255 10.10.10.1
  !--- This static route ensures that the remote peer
  address used for peering !--- is reachable. . . .
```

デバッグについて

```
R0#
clear ip bgp *
```

```
R0#
clear ip bgp *
```

```
R0#
clear ip bgp *
```

ルータがネイバーに対してパスワードを設定しているものの、ネイバーのルータがパスワードを設定していない場合は、ルータが BGP セッションの確立を試行する間に次のようなメッセージが表示されます。

```
R0#
clear ip bgp *
```

同様に、2つのルータに異なるパスワードが設定されている場合は、次のようなメッセージが表示されます。

```
R0#
clear ip bgp *
```

確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

- [R0#show ip bgp neighbors | include BGP](#)

```
R0#
clear ip bgp *
```

- [R0#show ip bgp summary](#)

```
R0#
clear ip bgp *
```

- R1#show IP bgp 要約

R0#

[clear ip bgp *](#)

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Cisco IOS IP ルーティング : BGP コマンド リファレンス](#)
- [IP ルーティングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)